

乗務員配置の解消を撤回せよ！ ダイヤ改で組合の指摘した問題点が続出！

紀伊長島駅の乗務員配置解消で再申し入れ！

2月22日、JR東海労は紀伊長島駅への乗務員配置の解消に対し再申し入れを行いました。会社はこの間、紀伊長島駅に配置されている乗務員の切実な声を代弁した私たちの要求に対して、生活条件や通勤条件の問題をはじめ、諸問題について全く真摯に対応しませんでした。

また、今次ダイヤ改正では、紀伊長島駅配置の乗務員が担当している行路を伊勢運輸区が受け持つこととなります。そのため、JR東海労が指摘してきた24時間を超える行路が発生し、便乗列車も増えて極めて非効率な行路に様変わりします。その負担が伊勢運輸区の乗務員に大きく掛かり、安全上でも大きな問題となります。

したがってJR東海労は、このような問題を放置せず、直ちに団体交渉を開催し問題を解決するよう申し入れました。

申第26号による申し入れ

1. 紀伊長島駅への乗務員配置の解消は、多くの問題点があり撤回すること。
2. 紀伊長島駅配属の乗務員の転勤希望をよく聞き、本人の希望を最優先させること。
3. 紀伊長島駅での面談において、「家庭の事情を汲む」「通勤の事情を汲む」との説明があった。これらの基準を明らかにすること。
4. 3・17ダイヤ改正以降、伊勢運輸区の運転士の行路には安全上問題がある。従って以下の見直しをすること。
 - ①24時間以上の行路は見直しをすること。
 - ②便乗の増加等により、乗務員の負担が増す行路は見直しをすること。
5. 南勢地区在住の社員を確保するためにも南勢地区の職場を確保すること。
6. 伊勢運輸区周辺に社宅・寮を配置すること。